

8. 単元名「4-4映画プロジェクト！」(全 52 時間) 1次案 4年4組

	子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・技能 ◎思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
一学期	「映像作りをしよう」(18)			<p>○映画を作るためには様々な工程があり、どの工程にも役割が明確になっていることに気づき、具体的な取り組みや活動を理解している。</p> <p><③課題対応能力> [1:課題を見出し、把握している]</p> <p>◎相手意識や目的意識を明確にしなが、自分自身が生かせることを追究し、自分の役割を自覚して工夫しながら映像作りに取り組んでいる。</p> <p><③課題対応能力> <②自己理解・自己管理能力></p> <p>◎映画作りについて、仲間と協力して話し合いながら自分の役割を決定し、行動して気が付いたことをもとに、次の活動を具体化するための振り返りや話し合いをしている。</p> <p><①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> <③課題対応能力> [2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる]</p> <p>●自己の取組を振り返ることを通して、よりよい映画を作ろうと探究活動にすすんで取り組もうとしている。</p> <p><①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力> [4:学びを振り返り、次につなげている]</p> <p>●魅力を楽しんで観てもらおう映画を作るために、映像作りに関わりのある方の話や観た方の感想を聞き、それを生かしながら粘り強く映像を作り直そうとしている。</p> <p><③課題対応能力> <②自己理解・自己管理能力> [2:課題解決の方法を考えている]</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度総合でやってきたことを、みんなで話し合っ て今年やりたいことを決めよう。 ・「作りたい!」「食べたい!」「見たい!」願いが共 通しているね。 ・「スイーツ」に関する映画を作りたい。 ・映像を一本作ってみよう! ・それぞれ役割分担をして活動しよう。 ・できたものを、いろんな人に観てもらいたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度追究していく材についてアイデアを出し合い、クラ スで取り組むものを決める。 ○年間の取り組みにある程度見通しをもつ。 ○映像作りをするために、何にどんな順番で取り組んでい くか調べる。 ○映像作りを始める。 →企画・シナリオ・撮影準備・撮影本番・編集 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの意見を聞くために、ロイロノートを活用してアイ デアを出し合うようにする。 ・出したアイデアの共通点を整理し、思いや願いを絞り出 していく。 ・相手意識につながるように「どんな人に見てもらいたい?」と 聞く。 ・プロデューサーとして、全体を俯瞰的に見ていく。 ・教職員や保護者にアンケートを取るよう促す。 	
二学期	「映画を公開する準備を進めよう」(22)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・観に来た方はどんな思いをもっていたのかな。 ・よりよい映像を作るために、改善していこう。 ・映画作りのコンセプトを確認しよう。 ・計画を立てよう。 ・動画編集をチェックしよう。 ・公開に向けて他にできることはないか考えよう。 ・完成したものを観てもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期の活動の振り返りをして、映像作りを極めるために どんなことが必要なのか話し合い、課題を明確にする。 ○動画編集をして、映画として公開できるように準備を進 める。 →企画・シナリオ・撮影準備・撮影本番(取材)・編集・映 像確認・直し・公開に向けて準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を生かせるように、学習の軌跡を残しておく、 振り返りしやすいようにする。 ・可能な限り、映像作りに関わりのある方をゲストティーチャー として招くか、お話を伺うことができるように日程調整をす る。 ・やることのないチームは、映画公開に向けて新たに取り組め ることがないか考えるように促す。 ・課題解決できているか、常に声を掛け児童に確認する。 	
三学期	「映画を公開しよう」(12)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・公開の準備をしよう。 ・宣伝のために、ポスターやチラシを作ろう。 ・他クラスや他学年、先生方や保護者、地域の方々 に映画を公開しよう。 ・魅力が伝わただろうか。アンケートを取ってみよ う。 ・取材を受けてくれた方に感謝を伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どんな形で映画を公開するか話し合う。 ○公開に向けて準備をする。 ○映画を公開する。 桜町フェスティバル+学校公開 ○今年度の成果と課題をまとめ、撮影に関わったすべて の方に感謝を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの教室・空間・設備・備品が使えるのか、事前に教職員で打 ち合わせしておく。 ・公開中の児童の立ち回りを確認しておく。 ・児童自身が感謝の気持ちを常に意識して行動に移すことが できるように、声掛けをしていく。 ・振り返りを次年度に生かせるように、掲示物等はロイロノート 等に残していく。 	

材(映画作り)のもつ価

- ・「いかに観客に楽しんでもらいながら魅力を伝えることができるか」という視点を大切にすることで、相手の気持ちを想像しながら映画作りの魅力に浸り込み、一人ひとりがその子なりの表現方法(シナリオ・撮影・美術・演技・ICTを使った編集等)を追究することができる。
- ・取材を受ける方やアドバイスをしてくださる方、映画を観に来てくださる人々との出会いを大切にしたり、共に創る仲間との絆を深めたりすることを通して、人と人とのつながることのよさを感じることができる。
- ・コンセプトの重要性やそれに向けて一人ひとりが請け負う役割に責任をもつ大切さを自覚し、個性を生かしながらプロジェクトを遂行していくよさを感じることができる。

材(映画作り)に寄せる子どもたちの思いや願い

- ☆昨年度の総合的な学習の時間の各クラスの取り組みや桜町フェスティバルをきっかけに、自分たちの力で何かの魅力を紹介するものを作り、周りの人に喜んでほしい思いをもっている。
- ★映像を作ったりその映像を観たりすることを楽しんでいること、映像を作るためには様々な工程があり、工程ごとに主軸で活躍する役職があることを知ること、自分たちにとってそのよさを存分に発揮できる活動であると思っている。
- ☆作った映画を公開し、周りの人に喜んでもらえたり笑顔になってもらえたりすることで、自分たち自身も幸せに感じたり、活動へのやりがいを感じたりしている。
- ☆人とのつながりを大切にすることで、地域をこれまで以上に大切にしたいと願っている。

★…子どもたちの深層にある求め(子どもたちが一番やりたいこと・願い)